

東部エリアにおける臨時保育室の開設について

子ども未来部 私立保育幼稚園課

1. 政策等の背景・目的及び効果

本市では、希望する施設を利用できていないといった潜在的な待機児童について通年での解消を図るため、これまでから公私立保育所（園）等の定員増加や臨時保育室の開設に取り組むとともに、令和6年度には一時預かり事業の空き枠を活用して待機児童を受け入れる「就労応援型預かり保育」を2園増加させるなど、様々な手法により取り組みを進めています。令和6年4月時点での待機児童数は218名（平成31年4月時点281名）（国定義の待機児童数はゼロ）となっています。また、毎年、年度途中では、育休復帰や転入などに伴い年度当初に比べ待機児童数は増加し、国定義の待機児童についても発生している状況です。

本市が目指す「通年の待機児童の解消」を図るためには、さらなる対策が必要であり、まずはより保育の必要性が高い国定義の待機児童について通年での解消が図られるよう、国定義の待機児童が多く発生している東部エリアにおいて、年度途中での育休復帰や転入などへの対応も踏まえ、私立徳風保育園の一室を改修し、令和7年4月から新たな臨時保育室を開設するものです。

2. 内容

(1) 待機児童（国定義）の状況

待機児童（国定義）の推移については、臨時保育室開設等の対策によって、令和4年3月の待機児童133人は令和6年3月では42人まで減少し、令和6年4月当初では待機児童は発生していませんが、毎年、年度途中には待機児童が発生している状況です。

【表1】 4月当初の待機児童数（国定義） （単位：人）

時期 エリア	R3.4 実績	R4.4 実績	R5.4 実績	R6.4 実績
北部	0	9	0	0
中部	0	0	0	0
南部	0	0	0	0
東部	0	0	0	0
合計	0	9	0	0

【表2】 3月末の待機児童数（国定義） （単位：人）

時期 エリア	R4.3 実績	R5.3 実績	R6.3 実績
北部	55	46	12
中部	44	0	0
南部	0	0	0
東部	34	43	30
合計	133	89	42

※太枠内は各臨時保育室の開室後の状況

(2) 臨時保育室の開設

東部エリアにある私立徳風保育園（田口山2丁目5-1）は、昭和45年に開設した保育園で、2階奥の保育室にトイレなど必要な設備を設置するための改修を行い、新たに定員10人の臨時保育室を開設するものです。なお、施設の運営については、徳風保育園を運営している社会福祉法人に委託します。

(1) 開所時間：7時から19時まで（日曜、祝日、年末年始は休室）

(2) 入室対象：複数の保育所等の入所申込を行っているにも関わらず、待機状態となっている児童のうち0歳児から5歳児の保育の必要性の高い児童。

(3) 利用料：月額 27,000円（給食費は別途必要）

国の無償化対象となる場合は、給食費のみ実費負担。



3. 実施時期

令和6年（2024年）12月 施設において設備改修など開設準備に着手

令和7年（2025年）4月 開室（予定）

4. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画 基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち

施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち

第2期枚方市子ども・子育て支援事業計画

施策目標 7 子育てと仕事の両立支援

SDGsとの関連



5. 関係法令・条例等

児童福祉法、子ども・子育て支援法

6. 事業費・財源及びコスト

【令和6年度（2024年度） 12月補正予算 計上予定】

《事業費》

補助金（開設準備費） 5,790千円

《財源》

国庫支出金 2,252千円

（内訳） ・ 子ども・子育て支援交付金 1,284千円 補助率1/3

・ 保育対策総合支援事業費補助金 968千円 補助率1/2

府支出金 子ども・子育て支援交付金 1,284千円 補助率1/3

一般財源 2,254千円

<今後想定されるコスト>

【令和7年度（2025年度） 当初予算 計上予定】

《事業費》 16,492千円

運営委託料 16,492千円

（内訳）基本分 12,892千円、障害児保育加算 3,000千円、延長保育加算 600千円

※障害児加配や延長保育については、利用実績に応じて対応します。

《財源》

国庫支出金 4,297千円（子ども・子育て支援交付金 補助率1/3）

府支出金 4,297千円（子ども・子育て支援交付金 補助率1/3）

一般財源 7,898千円